

二〇二六年度

編入学試験 二年次・三年次

## 小論文問題

(創作表現専攻)

二〇二五年十一月二十九日(土) 実施

### 注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけない。
- 二 解答用紙には、受験番号および氏名を正しく記入すること。
- 三 試験中に問題文の誤字、脱字等に気づいた場合は、手をあげて試験監督者に知らせること。
- 四 問題用紙は試験終了後、持ち帰ること。

問題 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

「アバター」という一見するとウェブ上の最も新しいキャラクター概念もその使われ方を追っていくと、その「私」や「内面」といった要素は近代小説にその出自を求めていくことが可能な気がしてきました。その問題をもう少し考えていく上で、近代的な表現におけるキャラクターの歴史を検証してみましよう。

キャラクターの中に「内面」があることをぼくたちは当然と思っているふしがありますが、しかしそれはこの国の私小説と密接ではないか。ぼくたちは自分の中に「気持ち」や「心」があることを疑いませんが、しかし、そもそもそれを確信できるのは、それを「書く」ことができるからです。

近代小説の歴史では、言文一致と私小説と自然主義を一体のものとして説明しますが、それは「私」の内面を自然科学的に観察して、それを話しことばによって表現することが新しい「文学」だと割と単純に考えられていたふしがあるからです。いつの時代もそうなのでしょうが、若者たちは自分たちに独占的な新しいことばを新しいメディアの中で表現したりします。メールの絵文字や2ちゃんねるの語や「KY」語にマユをひそめ、日本語の乱れをナゲク人々も、例えば五十年代前後の女性なら「変体少女文字」と呼ばれた丸文字を産み出した人々だったりするわけです。そういう新しいことばとメディアと「私」の三者間の結びつきができあがったのが近代という時代だとさえいえます。

例えば以下の一文を読んで下さい。

あまり長き文にて、実に下手に御座候へば、誰れにも御見せ下さるまじく候やう、くれぐれも願ひ上げ候。何とぞ幾度も御たよりあらん事を願ひ上げ候。かしこ

七月一日夜

濤子

御なつかしき

御兄上様御許に

二白

私は日記を書き次第<sup>さしあ</sup>上げます。姉さまもおしげさんも、明日物理と外国地理の試験がありますから、御返事を上げようと思いましたが、試験の方が心配ですからやめまして、すみ次第必ず差上げると申して居りました。さよなら。これをきつと誰にも見せてはいけませんよ。そのためにチャンと書いてありますよ。

これはぼくがよく明治の村上春樹<sup>むらかみはるき</sup>という言い方で言及する水野葉舟<sup>みずのようしゅう</sup>という作家の小説「ある女の手紙」の一節です。彼には『妹に送る手紙』（一九一二年）という不思議な本があつて、これは兄と妹が文通する時に、手紙をどう書いたらいいかというハウツー本です。

先の引用に戻ると、この小説は三人の若い女の子が一人の「お兄さま」に一斉に手紙を送り、誰がお兄さまの関心を引くかを競い合う、というもので、三人の手紙が順に配列されます。三人の「妹」は「お兄さま」の「妹」ではなく、ただ一人の男性を「兄さま」とか「兄上様」と呼んでいるだけです。「お兄さま」はそのうち一人と肉体的な関係を結んでぐだぐだになっていくという展開ですが、三人の「妹」系にモテまくり、彼女たちのモノローグが延々つづき、そして最後はぐだぐだになっていくという流れなどは、そのまま現在のギャルゲーと同じ構成だよな、とぼくなどは思っています。

A この小説が面白いのは、三人は最初、「候文」で「兄さま」に手紙を書いているのに、そのうち一人が「言文一致」で書き出すと、私も私も残り二人も続く、という部分です。引用したのは三人の中でも一番萌<sup>も</sup>え度が高いと思われる濡子という女の子で、この濡子ちゃんを含む三人の女の子が「言文一致」の文章で「私をわかって下さいお兄さま」の手紙を送る、というのがこの小説です。

さて、注意してほしいのは「候文」から「言文一致」にスイッチした瞬間、そこに彼女たちの「私」が現れるという点です。引用した濡子ちゃんの手紙でも前半はかしまっているけれど、言文一致に変わった瞬間、妹キャラ全開なのがわかると思います。彼女たちの「私」すなわち「キャラ」は「お兄さま」と「妹」という関係になって初めて成立するものです。それは、彼女たちが「言文一致の手紙」という虚構の中で、「妹」というアバター<sup>ii</sup>化身を演じているというイメージで受け止めると、この小説のニュアンスは伝わり易いと思います。ですから、「兄さま」の気持ち<sup>iii</sup>が三人のうち一人にあると「妹」たちが知ると、一人などは「言文一致」から「候文」にわざわざ文体をチェンジした上で他人ギョウギの

手紙を送り付けて去っていきます。こういう形で、「言文一致」と「候文」の間を行き来することで手紙の書き手の「私」が現れたり消えたりするというのは、たやまかたい 田山花袋の『蒲団』と同じ構成です。ヒロインのよこやまよしこ 横山芳子は東京で師である作家の許もとにいる時は「私」を主語とする一人称の手紙を届けてきては師を翻弄し、しかし、田舎に帰された後は主語を欠いた「候文」の手紙を届けます。

このように明治期の「妹」たちは「東京」や、あるいは「兄・妹」という恋愛ゲームの中では「言文一致」に支えられた「私」としてふるまい、しかし、それはぼくから見ると、彼女たちの現実ぶかは近代以前の因襲や「家」制度の中にあり、束の間、ある種の仮想現実としての言文一致体の「手紙」の中でのみ「私」というアバターを演じることが可能であった、と感じられます。けれどもそれは「妹」たちに限ったことではなく、花袋や葉舟ら男の文学者たちも、「私小説」というバーチャルな世界で「私」というアバターに「内面」を語らせているに過ぎません。同じです。

しかし「私小説」がヤツカイなのは、この「私」を私たちは本当の私と思いついてしまふところivです。ぼくは葉舟や花袋の「私」と、その小説の中に引用された「妹」たちや芳子たちの「私」の間に何ら差がないように思うのですが、前者の「私」の末裔まつえいたちが書いた小説は「文学」、「妹」たちの書いたものは「ライトノベルズ」と何となく今も区別されているのは、B ばかげていると思います。

そもそも、この「私」を一人称とする文章はいくらでも「アバターとしての私」を立ち上げることができます。ブログの中であなたが見せているつもりの「本当の私」も、反対に「2ちゃんねる」の「名無しさん」たち一人一人の当人は書き込みの過激さとは正反対の人であったりする事態Cも含め、ウェブ上にあるのはどれも「アバターとしての私」「キャラクターとしての私」という現象のようには思えます。ウェブは「匿名」やハンドルネームからなる「アバターとしての私」があふれている場所ですが、ぼくにはそこであたかもこの国の近代文学がやり直されているように思えます。ぼくの印象では「近代」とは、「言文一致」という新しいツールで誰もが「私」について話し始めた時代なのです。今は「言文一致」がウェブというツールに取って替わられたのだといえます。

おおつかえいじ (大塚英志『キャラクターメーカー』による。なお、設問の都合上、原文を一部改変した箇所がある)

〔注〕 \*2ちゃんねる……一九九九年に開設されたインターネット上の電子掲示板。二〇一七年、5ちゃんねるに改名。

\*KY語……日本語の文章を略して各単語の頭文字のローマ字・数字を組み合わせた略語群。

\*二白……手紙などで、本文のあとにさらに書き加えるときに、その冒頭に記す語。追伸。

\*ギャルゲー……女性キャラクターが登場することを売り物とするタイプのコンピュータゲームの俗称。

問一 傍線部ⅰ～ⅳのカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線部A「この小説が面白いのは」とあるが、筆者は「この小説」のどこがどう「面白い」と言っているのか。その内容を過不足なく説明しなさい。字数制限はありません。

問三 傍線部B「ばかっている」とあるが、筆者は何がどう「ばかっている」と言っているのか。その内容を過不足なく説明しなさい。字数制限はありません。

問四 傍線部C「ウェブ上にあるのはどれも「アバターとしての私」「キャラクターとしての私」という現象のようによくには思えます」とあるが、こうした「現象」について、あなたはどうか考えるか。考えるところを自由に論じなさい。字数制限はありません。

2026年度

編入学試験 2年次・3年次

## 小論文問題

(食創造科学科)

2025年11月29日(土)実施

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけない。
- 2 解答用紙には、受験番号および氏名を正しく記入すること。
- 3 試験中に問題文の誤字、脱字等に気づいた場合は、手をあげて試験監督者に知らせること。
- 4 問題用紙は試験終了後、持ち帰ること。

I 以下の文を読み、問いに答えよ。

我が国では、健康食品やサプリメントといった用語以外にも、栄養補助食品、健康補助食品、機能性食品、保健機能食品、特定保健用食品、栄養機能食品、特別用途食品など、様々な名称の食品があるが、いわゆる健康食品とは、行政的な言い方であり、国が保健効果や健康効果などの表示を許可していない製品（一般食品）をさしている。

問1 健康食品やサプリメントが医薬品と混同されることのないようにするにはどのような対策をすれば良いと考えるか。200～300字で述べよ。

問2 健康食品に関連した健康被害が起きる要因としてはどのようなことが考えられるか、例示してその解決法を700～800字で述べよ。

出典：厚生労働省『健康食品による健康被害の未然防止と拡大防止に向けて』より、  
設問に合わせて一部改変

[https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/dl/pamph\\_healthfood.pdf](https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/dl/pamph_healthfood.pdf)

2026年度

編入学試験 2年次・3年次

## 専門科目試験問題

(ビジネス学科)

2025年11月29日(土)実施

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけない。
- 2 解答用紙には、受験番号および氏名を正しく記入すること。
- 3 試験中に問題文の誤字、脱字等に気づいた場合は、手をあげて試験監督者に知らせること。
- 4 問題用紙は試験終了後、持ち帰ること。

1 下記の設問より一つを選択し、600字以内で解答しなさい。解答欄には選択した問題記号を記入すること。

A. 企業が多角化戦略を採用する動機・目的と、その代表的な類型について、具体的事例を交えて論じなさい。

B. わが国では、損益計算書において5つの利益を表示するルールとなっている。5つの利益について、その特徴をそれぞれ説明しなさい。

2 ビジネスに関連する以下の単語について、①・②は日本語に、③・④・⑤は英語に直しなさい。

① GDP

② diversity

③ 関税

④ 投資

⑤ 生産性